

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和8年7月28日発行

No.5

「全国学力テスト『記述式』で苦戦 中3数学は正答率 39%」に

副校長 中村 隆城

私は数学の先生なので、少し興味深い記事でした。この記事を読んだ人からは「パソコンや AI が普及したせいでは」という声も聞かれますが、それだけでは説明が付きません。実はこの「記述式が苦手」という課題は、今に始まったことではなく、以前から指摘されてきたことでもあるからです。今回の結果は、私たちが以前から向き合ってきた課題が、あらためて数字として表れたものだと思っております。

現在の教育の問題点を指摘するのではなく、この原因をちょっと違う角度から、考えてみました。一つは、試験時間が十分ではないのではないかということです。そもそも学びとは、やってみてうまくいかず、方法を変えてまたやってみる…と正解までの道は一直線ではなく、寄り道が多いはずで、試験という限られた時間の中で、じっくり考え、書いては直すという試行錯誤を十分に行うということは、そもそも難しいのかもしれない。

もう一つは数学者である藤原正彦氏の著書からの視点です。藤原先生は日本の生徒は計算力で抜群の成績を残す一方、文章を読み解き、論理的に記述する問題では並の成績に止まると指摘し、その背景に日本語の「あいまいさ」があると述べています。例えば、「美味しいケーキとビスケットを食べた」と言われたら、ビスケットはおいしいのでしょうか。「滑らかな曲線Aと曲線B」と言われたら、曲線Bは滑らかなのでしょうか。私たちは多少あいまいな表現でも前後の文脈で読み取ることに慣れていますが。

しかし、数学の問題を解くには一つ一つの文章の正確な読み取りが必要になります。日本語はあいまいな表現で数学の問題を解く上では、少し壁になってしまう一方で、あいまいであるが故に美しいのだと思います。ノーベル文学賞を受賞した川端康成の小説を、アメリカのある日本文学研究者が英訳するのに体験苦労したという話もあります。

藤原先生の著書では、日本は歴史的にも、他の分野に比べ文学と数学において多くの俊秀を産み出してきた。とりわけ独創を必要とするこの分野で、日本人が光彩を放ってきたことは興味深い。日本語のあいまいさが豊かな想像力の土壌となってきたような気がする、とも書かれています。明日から夏季休業が始まります。いつもより時間はたっぷりあります。時間を気にせず、いろいろな解き方を試しながらじっくりと問題に取り組んではいかがでしょうか。本が苦手な人も、この機会にじっくり本屋さんで一冊を選び、読書にふけ

るのもいいかもしれません。

連日厳しい暑さが続いております。熱中症や交通事故、水の事故には十分御注意いただき、規則正しい生活リズムを保ちながら、心身ともに健やかな夏休みをお過ごしください。2学期、お子さま方と元気な姿で会えることを、教職員一同楽しみにしております。

夏休みに向けて 保健室から

養護教諭 小山内 日和

日頃より、本校における保健室運営にあたたかい御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。急な体調不良やお怪我でお電話をした際にも、御家庭の御用事やお仕事等で御多忙の中、いつも快くお迎えなどの御対応をいただきまして、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

暑い日が増えてきましたが、お子さまたちは御家庭でいかがお過ごしでしょうか。今回は、保健室から最近のお子様たちの様子や来室の傾向、そして御家庭で一緒に見守っていただきたいポイントについて、簡単にではありますがお伝えさせていただきます。

第Ⅰ期、進学や進級に伴い、新しい環境で不安な気持ちを抱えていたお子様も多かったのではないかと思います。本校の生徒は遠くから時間をかけて通学しているお子様も多く、毎日の登下校だけでもたくさんの体力を使っています。特にこの季節は、暑さや日々の疲れから体調を崩しやすくなる時期でもあります。もし、朝の様子で「なんだかいつもより元気がなさそうだな」「あまり食欲がないみたいだな」など、少し気になる御様子がありましたら、無理はなさらず、御家庭でゆっくり休ませることも選択肢として御検討いただければと思います。また、夏休み中、アクティブな活動を楽しむ御家庭も多いと思いますが、熱中症の対策も万全にしていだけたらと思います。熱中症は「気温が高い日」だけに起こるのではなく、「お天気や部屋の湿度などの環境」「睡眠不足や朝ごはん抜き、疲れといった体の状態」、そして「長時間の運動や水分補給の忘れといった行動」の三つの要素が重なったときに起こりやすくなります。特に、急に暑くなった日など体が暑さに慣れていない時期は注意が必要です。第Ⅱ期以降も、引き続き学校でも暑さ指数(WBGT)をしっかりとチェックしながら安全に活動できるよう配慮してまいります。御家庭でも「水筒を持ったかな?」「マスクは外した方が涼しいんじゃない?」といった一声をかけていただけますと、大変心強いです。

さて、これからやってくる夏休みは、日頃の学習や生徒会活動に全力を注いできた子どもたちにとって、心と体をしっかりと休め、長く続く2学期に向け、エネルギーを蓄えるための大切な「充電期間」です。中学生は、日々の人間関係や学習・習い事をこなす中で、本人が意識している以上に心身に負荷がかかりやすく、知らず知らずのうちにストレスが溜まっていることも少なくありません。夏休みは、少し立ち止まって自分自身のペースを取り戻す絶好の機会です。例えば「早めに起きて、夜更かしもしすぎず、規則正しい生活リズムを守ること」「スマホやタブレットから離れて、自分の好きなことに没頭したり、あえてぼーっと過ごしたりして日々の余白を楽しむこと」「ご家族でゆっくり会話を楽しみ、思いを共有すること」など、日常の慌ただしさから少し

離れた時間や関わりが、子どもたちの心をリラックスさせ、成長のための大きな活力となります。

どうぞ御家庭で、お子様がほっと一息つき、心身ともに自分らしくリフレッシュできる穏やかな時間をお過ごしください。

2学期に向け、夏休み中のお子様の体調や様子で何か気になることや御不安なことがございましたら、いつでも担任の先生や保健室までお気軽に御相談ください。これからも保護者の皆様と一緒に、子どもたちの健やかな毎日をあたたく見守っていきたいと思っております。

■附属札幌中学校いじめ防止基本方針を公開しています

本校では北海道教育大学のいじめ防止基本方針を受け、いじめのない学校づくりを推進するとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう「附属札幌中学校いじめ防止基本方針」を策定しております。詳細につきましては本校 HP にて公開しております。ぜひ、御家庭でも御確認いただけますようお願い申し上げます。

(本校 HP「学校概要」<https://www.hue-fsj.ed.jp/outline.html>)



■体罰・性被害相談窓口（札幌市教育委員会）の御案内

本校では日頃より、生徒及び教職員が安心して過ごせる環境整備に努めております。体罰や性被害による悩みや不安がある場合は、本校への御相談のみならず、様々な相談機関を御活用いただければと考えております。その一例として札幌市教育委員会の相談窓口を掲載いたします。この窓口では、生徒の皆さんや保護者の方々からの御相談を、丁寧にお伺いし、必要な支援につなげてまいります。ひとりて悩まず、御相談ください。

■相談方法

電話またはメールで御相談いただけます。

電話番号：272-6034

メールアドレス：taibatsu.seihigai@city.sapporo.jp

■受付時間

電話対応：平日 10:15～16:45

（※土日・祝日・年末年始を除く）

メール相談：24 時間受付

（※対応は受付時間内）

■夏季休業中の時間外音声対応の時間について

夏季休業期間中につきましては、平日については 16:00～9:00、休日については一日を通して時間外音声対応の時間とさせていただきます。また大学の閉庁期間を含めた8月7日（金）～17 日（月）は休日と同様の対応とさせていただきます。保護者の皆様には御不便をおかけいたしますが、御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

～諸活動の結果・表彰～

コンクールや大会の入賞・入選した皆さんの栄誉を讃え、ご紹介いたします。入賞・入選した皆さんおめでとうございます！

大会・コンテスト・コンクール名	賞	学級	生徒氏名	部門
第43回 NHK 杯 全国中学校放送コンテスト札幌地区予選	最優秀賞	3C	小林 亜依	朗読部門

8月の行事予定

日付	曜日	行事等の予定	下校バス時刻 (予定)
24	月	夏季休業日27	
25	火	午前授業/授業開始前集会(朝学活)	14:10
26	水	前期期末テスト①/全学年(国・数・社・理・英)	15:20
27	木	前期期末テスト②/1年(美・音・技家・保体)/2・3年(音・美・保体・技家)	13:10
28	金	D組給食交流(全学年)	14:10
29	土	学校説明会(附中オープンスクール②)	12:05
30	日		
31	月	藤華祭 PJ	16:20